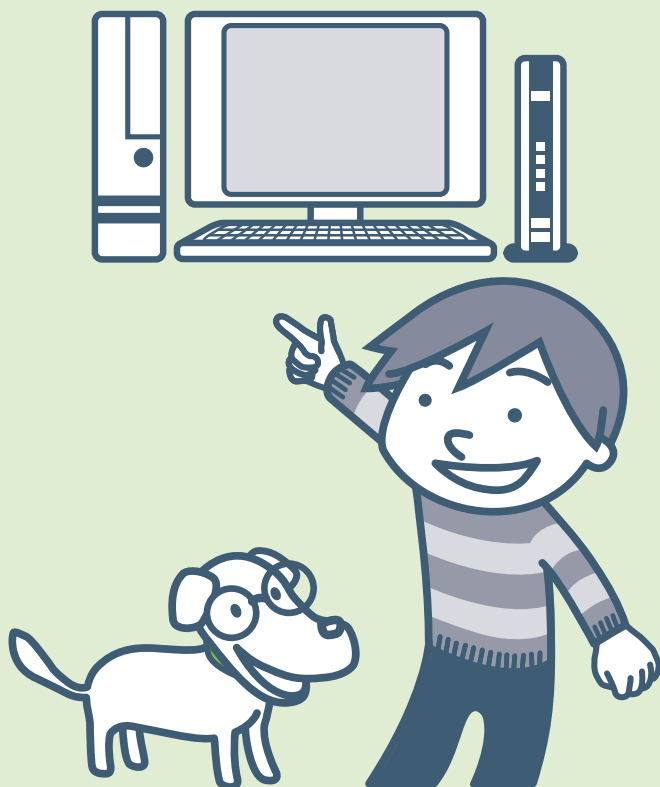


ADSLモデム セットアップ ガイド



●本文中の表記について

ADSLモデム	本文中に記載されている「ADSLモデム」は、以下の機器のことを指します。 ・BBモデム4-G ・トリオモデム3-G plus ・トリオモデム3-G ・トリオモデム26M
---------	--

●本文中の記号について



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。
よく読んで注意を守ってください。



関連する情報が、本マニュアルの他のページにあることを示しています。

- ・「ソフトバンク」、「 SoftBank」は当社またはグループ会社の登録商標または商標です。
- ・本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。
- ・本冊子の製品に対する記述は情報を提供する目的で書かれたもので、保証するものではありません。
- ・記載内容は2011年3月25日現在のものです。
- ・サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更することがあります。
- ・Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Mac OSは米国Apple Computer Inc.の商標または登録商標です。
- ・その他、記載されている製品名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。
- ・本冊子の本文中ではTM、®マークは明記しておりません。

Step 1

まずはADSLモデムを接続しましょう！



パソコンをADSLモデムとつなぐだけ。同梱の「ADSLモデム接続ガイド」をご覧ください。どなたでもカンタンに接続いただけます。

- 安全のために特に注意してください・・・P. 2
- 箱の中身を確認しましょう・・・P. 6
- LANアダプタ(カード)とは・・・P. 8
- セットアップの流れを確認しましょう・・・P. 10
- 機器を接続しましょう・・・P. 11
- 電話機の回線種別を設定しましょう・・・P. 24

Step 1

Step 2

ネットワークの接続を確認しましょう！



ADSLモデムの接続後、ブラウザを起動してインターネットのホームページが表示されるか確認してみましょう。

- ネットワークの接続を確認しましょう・・・P. 26

Step 2

Step 3

メールを設定しましょう！



最後に、メールの設定を行います。設定にあたって、別途お届けした書面(スターターパック)が必要となりますので、お手元にご用意ください。

- はじめに・・・P. 28

メールソフトをご利用される場合: お使いのパソコンに該当するページをご覧ください

- Windows 7・・・P. 29
- Windows Vista (Windowsメール)・・・P. 30
- Windows (Outlook Express)・・・P. 34
- Mac OS X(10.4) (Mail 1.x)・・・P. 39
- Mac OS X (10.4以前) (Mail 1.x)・・・P. 41
- Mac OS 9.1以降(Outlook Express)・・・P. 43

ADSLサービスご利用にあたっての設定は以上で終了です！ブロードバンドをお楽しみください。

Step 3

詳細設定

パソコン・機器に関する詳細設定



「ADSLモデムの設定の確認やパスワードを変更したい」「ルーター機能の詳細を設定したい」「手動でネットワークを設定したい」など、お客様ご自身でネットワークを設定される場合は、こちらをご確認ください。

- はじめに・・・P. 45

詳細設定

トラブル シューティング

困ったときには…



何らかの問題が発生したら、まずは「トラブルシューティング」をご覧ください。

- トラブルシューティングガイド(目次)・・・P. 79

トラブル
シューティング

安全のために特に注意してください

ADSLモデムを正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解されたうえでお使いください。

ご利用前に必ずお読みください

- ご利用の際は本冊子、およびADSLモデムに付属の冊子やチラシなどに従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品の仕様は国内向けとなっています。海外ではご利用できません。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万が一本製品に登録された情報内容が消失してしまうことでの純粋経済損失につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本冊子に、他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制あるいは保証するものではありません。
- 本冊子、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

使用している警告表示の意味

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

本製品をご自分で修理・分解・改造等目的以外の使用をしないでください。火災や感電のおそれがあります。

本ADSLモデムのカバーおよびUSBのカバーは絶対に取り外さないでください。火災、けが、やけど、感電、漏電などの事故または機器の故障の原因となります。お子様などが万一誤ってカバーを飲み込まれた場合は、すみやかに医師に相談してください。

本製品を分解したり、内部に触れたりしないようにしてください。感電、やけど、けがのおそれがあります。また機器故障の原因となります。

落としたり、衝撃を与えた場合は、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

本製品の内部に水が入ったり、本製品をぬらしたりした場合は、すぐに電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本製品内部に液体・金属・たばこの煙などの異物を入れないでください。

本製品の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本製品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本製品の内部に熱がこもり、火災、機器故障の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・じゅうたんやカーペット(床暖房を含む)、布団などの上に置く
- ・テーブルクロスなどの布やレースを本製品に掛ける
- ・本棚、タンスの中、押し入れの中など風通しの悪い場所に置く
- ・紙、本などをのせたり立て掛けたりする

電源アダプタコードを束ねたり、許容量以上の配線はおやめください。火災の原因となることがあります。

電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの差し込み口を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。

本製品は場合により熱くなる場合がありますので、本製品の周辺に紙、布等燃えやすいものは置かないようにしてください。

本製品を取り付け・使用する際は、必ず使用するパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

故障の原因となりますので、本マニュアルで指定された以外の機器は取り付けしないでください。万一、機器などに不具合が発生しても弊社としては一切責任を負いません。

本製品に触れ続けしないでください。使用中に本製品表面が熱くなり、低温やけどを起こすおそれがあります。低温やけどは、一定箇所に発熱体が触れたままになっているときなどに、肌に紅斑(こうはん)、水泡(すいほう)などの症状を起こすやけどのことです。特に肌の弱い方などはご注意ください。

安全のために特に注意してください

⚠ 注意

電源アダプタがコンセントに接続されているときは、ぬれた手で本製品にさわらないでください。感電の原因となります。

本製品をふる場や加湿器のそばなど、湿度の高い所で設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタとコンセントの間のほこりは、定期的に（半年に1回程度）取り除いてください。火災の原因となることがあります。

本製品はスタンドを下に、正しい向きに配置してください。横置きにして使用した場合、内部の温度が上がり、火災や機器故障の原因となることがあります。

直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒーターなどの発熱器のそばなど、温度の高くなる所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災や機器故障の原因となることがあります。

本製品の上に物をのせないでください。高温による火災の原因となることがあります。

雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてください。また、壁のモジュージャックからモジュラーケーブルも抜いてください。落雷によって、火災や感電、機器故障の原因となることがあります。

モジュラーケーブルを抜いている間は電話が使えませんので、電話を使用したい場合は電話機とモジュージャックを直接モジュラーケーブルで繋いでください（電話加入権不要タイプのお客様を除く）。但し、落雷によって電話機とモジュラーケーブルが故障および破損する恐れがありますのでご注意ください。雷がおさまったら再度接続してください。

詳しくは、お客様サポート／落雷対策

Yahoo! BBサービス(ybb.softbank.jp/rakurai) または、
SoftBankブロードバンドサービス(sbs.softbank.jp/rakurai) をご覧ください。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などの静電気は、本製品を破損、またはデータ消失・破損させるおそれがあります。

長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本製品の電源アダプタをコンセントから抜いてください。

お願い

- ペンジン・シンナー・アルコールなどで本製品をふかないでください。本体の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から30秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。これを守らないと故障の原因となることがあります。

ADSLモデムの主な仕様 (ルータ機能付き)

	BBモデム4-G	トリオモデム3-G plus
外寸 無線LANカード非装着時 無線LANカード装着時	22(H)×7(W)×14(D)cm 25(H)×7(W)×14(D)cm	
質量	本体:約610g,ACアダプタ:約530g	本体:約540g,ACアダプタ:約450g
電源	ACアダプタ	
入力	100V(50/60Hz)	
出力	AC16V/1.5~1.6A	AC16V/1.1A
最大消費電力	約20W	16W
動作温度※	5℃~40℃	
動作湿度※	15%~85%以下 (※ただし結露なきこと)	

	トリオモデム3-G	トリオモデム26M
外寸 無線LANカード非装着時 無線LANカード装着時	24(H)×8(W)×15.5(D)cm 27(H)×8(W)×15.5(D)cm	
質量	本体:約650g,ACアダプタ:約450g	
電源	ACアダプタ	
入力	100V(50/60Hz)	
出力	AC16V/1.1A	
最大消費電力	13.8W	
動作温度※	5℃~40℃	
動作湿度※	15%~85%以下 (※ただし結露なきこと)	

※動作温度5℃~40℃,動作湿度15%~85%以下(ただし結露なきこと)の環境でご使用ください。それ以外の環境でご使用になると、誤作動や故障の原因となる場合があります。

通信に関する仕様

WAN		LAN		無線LAN		
準拠規格	Multi-mode,compatible with ANSI T1.413 Issue 2		IEEE 802.3/ IEEE 802.3i/ IEEE 802.3u/ IEEE 802.3x		<4-G,3-G plus,3-G> IEEE802.11b/g(自動認識) <26M> IEEE802.11b	
	ITU-T G.992.1 (G.dmt) Annex A/C					
	G.992.2 (G.lite) Annex A/C					
	<4-G,3-G plus,3-G> ADSL+ / クワッドスペクトルADSL / G.994(G.hs) <26M> ADSL+ / G.994 (G.hs)					
	<4-G> スーパーアップストリームクワッド					
伝送速度	<4-G> 50.5Mbps/12.5Mbps <3-G,3-G plus> 50Mbps/3Mbps <26M> 26Mbps/1Mbps		10/100Mbps(自動認識)		[802.11b] 11/5.5/2/1Mbps (速度自動切り替え) [802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (速度自動切り替え)	
	WANポート	RJ-11 (1ポート)	LAN ポート	<4-G,3-G plus> RJ-45 (4 ポート) <3-G,26M> RJ-45 (1 ポート)	周波数帯	2.4GHz帯
					チャンネル数	<4-G,3-G plus> 1~13ch (自動設定時1~11) <3-G,26M> ※26Mは[802.11b]のみ [802.11b] 1~14ch (自動設定時1~11) [802.11g] 1~13ch (自動設定時1~11)
					アンテナ方式	ダイバシティ方式(内蔵型)

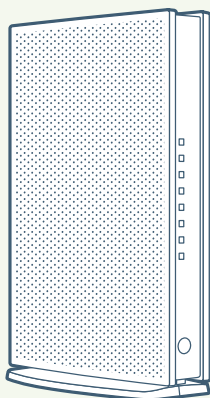
箱の中身を確認しましょう

接続の前に、お届けしたADSLモデムの箱の中身がすべて揃っているかどうかをご確認ください。万一、不足品があった場合は、ADSLモデムに同梱されている「ADSLサービスお問い合わせ先」をご覧ください、ご連絡ください。

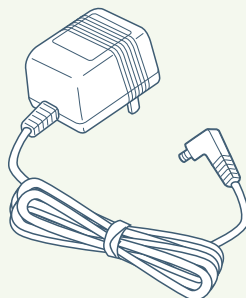
サービスをご利用いただくにあたり、ご使用されるパソコンについてもあわせてご確認をお願いいたします。



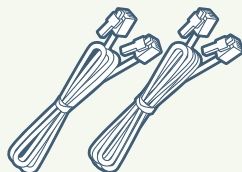
ADSLモデムの箱に入っているもの



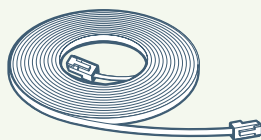
☐ ADSLモデム(1台)



☐ 電源アダプタ(1個)



☐ モジュラーケーブル
(黄色・緑色 各1本)



☐ LANケーブル(青色 1本)



☐ セットアップガイド など

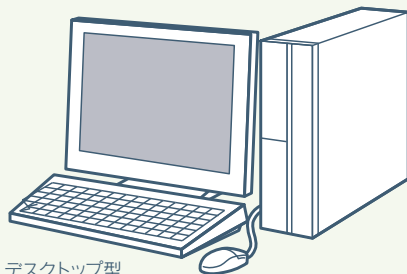
※製品の外観は実際と異なる場合があります。



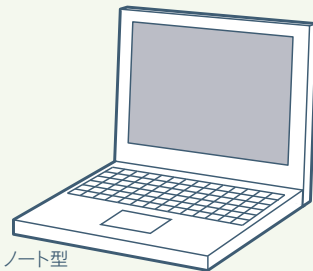
ご注意が必要なパソコンについて

- Windows 98/98SE/Meはマイクロソフト社のサポートが終了しているため、今後、プログラムが更新されずセキュリティ上危険をもたらす可能性があります。詳しくはマイクロソフト社のサポートページをご参照ください。
- Mac OSでは、Open Transportのバージョンが2.7以上でない場合、OSあるいはOpen Transportをアップデートしてください(ご使用いただける場合もありますが、接続を保証するものではありませんのでご了承ください)。
- TCP/IPプロトコルおよびDHCPによってIPアドレスが取得できるネットワーク設定が可能なOSであれば、LinuxなどのPC UNIXやWindows NTなどのOSでも利用可能ですが、サポート対象外となります。
- 日本語OS以外のパソコンはサポート対象外となります。

お客様にご用意いただくもの



デスクトップ型



ノート型

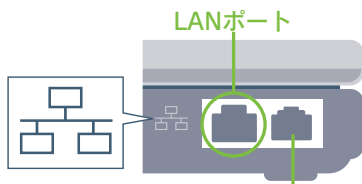
□ パソコン(デスクトップ型・ノート型)

●●●●● 推奨されるパソコン環境 ●●●●●

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7
- Mac OS X
- 3年以内に発売されているパソコン(ブロードバンドコンテンツを快適にお使いいただけます)。

下記のようなLANポートのないパソコンの場合、LANアダプタ(カード)をご用意ください。

※ご自身で判断が難しい場合はパソコンメーカーにお問い合わせください。



似たような形で少し小さいのは、
電話線用のポート

※ポートの位置や見た目は、
お使いのパソコンによって多少異なる場合があります。



LANポートのないパソコンを
お使いの場合は次ページをご覧ください。

LANアダプタ(カード)とは

LANアダプタとは、コンピュータをLAN(オフィス、家庭内など限定されたエリアで使用するネットワーク)に接続するために必要な機器のことで、パソコンとADSLモデムとの接続に必要です。LANアダプタはパソコン本体に内蔵されていることもあります。内蔵されていないパソコンには後から取り付ける必要があります。お使いのパソコンにLANアダプタが内蔵されていない場合は、下記をご参照のうえ、ご用意をお願いいたします。

LANアダプタ(カード) ご用意の際のご注意点

Point 1

100Base-TX対応のLANアダプタであること

弊社が提供するブロードバンドサービスでは、100Base-TXという通信規格に対応したLANアダプタのご利用を推奨しております。

※10Base-Tという通信規格の製品であっても、通信速度は低下しますがご利用は可能です。

Point 2

お使いのパソコンで利用可能であること

パソコンの機種によってご利用可能なLANアダプタが異なります。規格や種類によっては利用できないLANアダプタもありますので、**必ずご利用のパソコンに対応したLANアダプタを確認してからご購入ください。**

※LANアダプタの選択や具体的な取り付け方法についてはパソコンに付属の取扱説明書などをご覧ください。パソコンメーカーやLANアダプタのメーカーにお問い合わせください。

※LANアダプタのご利用には、パソコンにLANアダプタを取り付けるだけでなく、パソコン側にドライバ(ここではLANアダプタを利用するのに必要なソフトウェアのこと)のインストールが必要な場合があります。インストール方法は、LANアダプタに付属の取扱説明書などをご覧ください。



右ページの説明を読んで
どのタイプに該当するか
チェックしてみよう!



LANアダプタは、電器店などで販売されています。

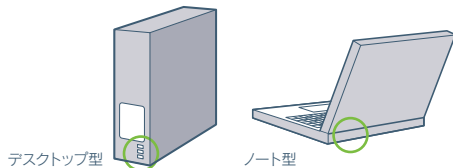
ー LANポートのないパソコンをお使いのお客様 ー

参考 代表的なLANアダプタ

下記の分類・イラストはあくまでも一般的な目安です。ご利用の環境によっては当てはまらない場合もあります。必ずご利用のパソコンに対応したLANアダプタをご確認のうえ、ご購入ください。

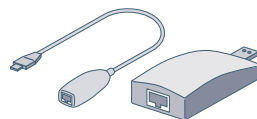
USBポートがあるパソコン

USB接続タイプ



デスクトップ型

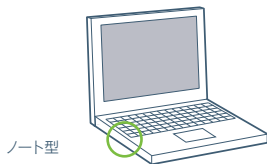
ノート型



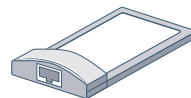
USB接続タイプはUSBポート（パソコンに備えてある差込口）に取り付けて使用します。下記のPCカードタイプ/PCIバスタイプと比較すると多少通信速度が低下するため、弊社が提供するブロードバンドサービスの速度を十分にご活用いただけない場合があります。

PCカード用スロット（差込口）があるパソコン

PCカードタイプ



ノート型

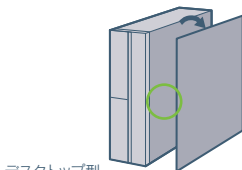


ノートパソコンのPCカード用のスロットに差し込んで使用します。

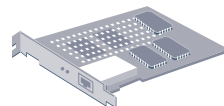
※一部のデスクトップパソコンでは利用可能な場合があります。

PCI接続対応の拡張スロットがあるパソコン

PCIバスタイプ



デスクトップ型



デスクトップ型パソコンの本体のケースを開けて、拡張スロット（コンピュータに機能を追加するためのスペース）に取り付けて使用します。比較的、安価で購入でき、通信速度も十分です。通常サイズのものとは小型カード（Low Profile）の2種がありますので、拡張スロットがどちらのタイプか確認してからご購入ください。

セットアップの流れを確認しましょう



準備が整ったら下記の流れに従って、ADSLモデムのセットアップを行ってください。まずは全体の作業の流れを確認しましょう！

機器を接続します

▶ P.11

ランプを確認します

▶ P.14

回線種別の設定を行います

▶ P.24 (電話に関する大切な設定となります。)

インターネットに接続できるかどうかの確認をします

▶ P.26



接続できない場合



メールの設定を行います

▶ P.28

接続できなかったらこのページを参照のうえ、ネットワークを設定しましょう。

- | | |
|----------------|--------|
| ●Windows 7 | ▶ P.62 |
| ●Windows Vista | ▶ P.65 |
| ●Windows XP | ▶ P.68 |
| ●Mac OS 9.1以降 | ▶ P.74 |
| ●Mac OS X | ▶ P.76 |



作業は以上で完了です



ルータ機能の詳細設定を行いたい場合は…

ネットワーク環境やご利用になるアプリケーションなどにより、ADSLモデムのルータ機能の詳細設定を行いたい場合は、「パソコン・機器に関する詳細設定」をご覧ください。

パソコン・機器の詳細設定 ▶ P.45

機器を接続しましょう



ご利用になるADSLモデムによって、接続の仕方が異なります。
モデム別参照ページをご確認ください。
ADSLモデムに同梱されている「ADSLモデム接続ガイド」で、
接続の流れをわかりやすく説明していますので接続作業の際には
あわせてご覧ください。

モデム別参照ページ

- BBモデム4-G/トリオモデム3-G plusの場合…………… P.12
- トリオモデム3-Gの場合…………… P.16
- トリオモデム26Mの場合…………… P.20



モジュラージャックが複数ある場合に、ADSLモデムを接続しないほうのモジュラージャックに電話機やFAX機などを接続すると、電話にノイズが入る、FAX通信ができないなどの影響が出る場合があります。ADSLモデムを接続しないモジュラージャックには、これらの機器を接続しないでください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 本サービスはベストエフォート型のサービスです。表示速度は弊社が採用する技術の論理最大速度であり、電話局からの距離やお客様宅内の環境、今後のアマチュア無線との干渉対策などにより最大速度を保証するものではありません。また開通までにお時間をいただく場合やサービスをご利用いただけない場合がございます。
- ADSLとして使用する回線で次のようなシステムを利用されている場合は、ADSLサービスと互いに干渉し、通信に影響する場合があります。ホームテレフォン、ビジネスフォン、内線電話、ドアフォンに接続された電話機、ダイヤルイン追加番号、信号監視サービスなどをご利用の際は、回線工事をするか、新しく回線を用意するなど、新規にお申し込みが必要となる場合があります。また、ノーリングサービス（ガス・水道の検針等）や警備会社のホームセキュリティシステムをご利用の方は、サービスのご使用にあたって対応工事が必要になる場合があります。詳しくはそれぞれの事業者にお問い合わせください。
- 「オフトーク通信サービス」をご利用の場合は、オフトーク通信サービスを利用した放送等にノイズが入ることがあります。
- 電話局舎からお客様宅内までの距離が約4km以上離れている場合は、上位サービスもしくはリーチDSLサービスをお勧めいたしております。

※サービスの変更には、NTT局内工事料および、弊社指定のサービス変更手数料が必要となります。あらかじめご了承ください。
※ご利用のサービスによっては、リーチDSLをお使いいただけない場合があります。

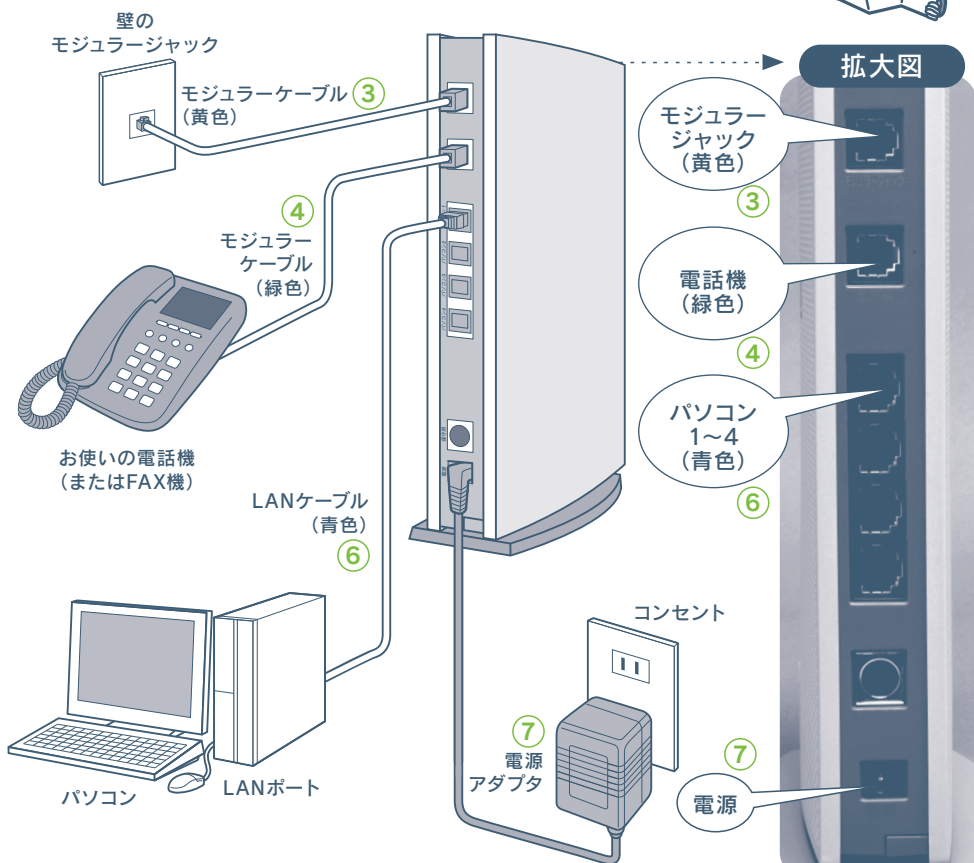
詳しくは、ホームページ(<http://info.softbank.jp/>)をご確認いただくか、SoftBank BB インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

機器を接続しましょう

BBモデム4-G/トリオモデム3-G plusとパソコン、電話機を接続する

ADSLモデムに同梱されている「ADSLモデム接続ガイド」で、接続の流れをわかりやすく説明しています。接続作業の際にはあわせてご覧ください。

※機器やケーブルなどの形状は、実際と異なる場合があります。
※ケーブルは差し込み口のみに色がついている場合があります。



※ケーブルは同じ色のポート (差し込み口) に差し込んでください。

💡 モジュラージャックが複数ある場合は…

対処方法 ▶ P.88



BBモデム4-G/トリオモデム3-G plus、電話機、パソコンなどの電源アダプタはそれぞれの機器に正しく接続してください。電気製品の電源アダプタは、機器によって定格電流や定格電圧、入力端子の+極/−極の形態、位置などが異なり、他の製品のものを接続すると機器の誤作動や故障、発熱の原因となり、大変危険です。

1 機器の電源を切ります

接続する機器（パソコン、BBモデム4-G／トリオモデム3-G plus、電話機）の電源をすべて切ってください。

2 電話機（またはFAX機）から電話線を取り外します

現在ご使用中の電話機（またはFAX機）に接続している電話線を、壁のモジュージャックから取り外してください。

3 ADSLモデムとモジュージャックを接続します

BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusに同梱のモジュラーケーブル（黄色）を使用して、BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusの〔モジュージャック〕（黄色）と壁のモジュージャックを接続します。

4 ADSLモデムと電話機（またはFAX機）を接続します

BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusに同梱のモジュラーケーブル（緑色）を使用して、BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusの〔電話機〕（緑色）と電話機（またはFAX機）を接続します。

5 電話機（またはFAX機）の電源を入れます

お使いの電話機（またはFAX機）で、「ブッシュ回線」か「ダイヤル回線」の、いずれかの回線種別を設定する必要があります。詳細はP.24をご覧ください。

回線種別の設定方法をP.24で詳しく説明しています。

6 ADSLモデムとパソコンを接続します

BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusに同梱のLANケーブル（青色）を使用して、BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusの〔パソコン〕（青色）の差し込み口のいずれかとパソコンのLANポート（LANアダプタまたはLANカードの差し込み口）を接続します。

BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusにパソコンや周辺機器を複数台接続する場合も、同様にBBモデム4-G／トリオモデム3-G plusの〔パソコン1〕～〔パソコン4〕とパソコンのLAN（LANアダプタまたはLANカードの差し込み口）をLANケーブル（青色）で接続してください。

7 ADSLモデムの電源を入れます

BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusに同梱の電源アダプタをBBモデム4-G／トリオモデム3-G plusの〔電源〕に接続して、もう一方をコンセントに差し込みます。

8 パソコンの電源を入れます

BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusの〔リンク〕ランプが点灯してから、パソコンの電源を入れてください。

以上で接続は完了です！
次ページ（P.14）でBBモデム4-G／トリオモデム3-G plusのランプを確認しましょう。

機器を接続しましょう

BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusのランプを確認しましょう



接続が終わったら、ADSLモデムの前面パネルのランプが正常に点灯するかどうかをご確認ください。

BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusの電源を入れると、〔パソコン〕、〔リセット〕以外のランプが約30秒間点灯します。1～2分後、下記図のように〔電源〕、〔リンク〕、〔BBフォン〕の各ランプが点灯すれば、回線は正常に接続されています。

なお、BBフォンサービスを提供していないサービスをお申し込みの場合は、〔BBフォン〕ランプは点灯しません。

■…点灯 ■…消灯 ☆…点滅

ランプ1 [電源]

BBモデム4-G／トリオモデム3-G plusに電源が供給されているときに点灯します。点灯しない場合は、電源アダプタの接続をご確認ください。

ランプ2 [警告]

何らかの通信障害が発生したときに点灯します。点灯したままになっている場合はBBモデム4-G／トリオモデム3-G plusを再起動する必要があります。

ランプ3 [リンク]

インターネット回線に正常に接続されているときに点灯します。インターネット接続の準備中には点滅します。
※開通工事が完了するまでランプは点灯しません。

ランプ4 [パソコン1]～[パソコン4]

パソコンとBBモデム4-G／トリオモデム3-G plusが正常に接続されているときに、パソコンに接続しているポート（差し込み口）に対応したランプが点滅または点灯します。パソコンの電源が入っていないときや、パソコンが接続されていない場合は点灯しません。

（緑色：100Mbpsリンク時/橙色：10Mbpsリンク時）

ボタン1 [電話転送開始]

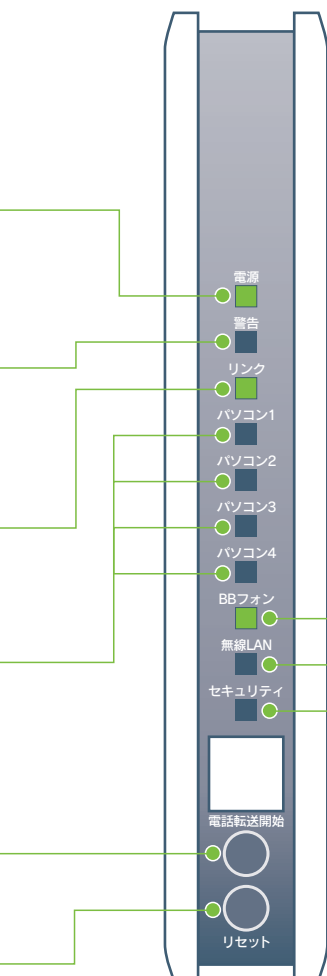
今回は使用しません。

ボタン2 [リセット]

ボタンを押すと再起動します。ボタンを5秒間押し続けると、設定を初期化します。



【BBフォン】ランプと【無線LAN】ランプが同時に点滅しているときは、モデムのソフトウェア更新中となりますので、電源をお切りにならないよう、お願いいたします。
故障の原因となることがあります。



ランプ5 【BBフォン】

BBフォンを使った通話が可能なときに点灯します。点滅または消灯しているときはBBフォンでの通話はできません。

※BBフォンおよび関連サービスにお申し込みの場合。

ランプ6 【無線LAN】

無線LANカードがBBモデム4-G／トリオモデム3-G plusに装着され、無線LANでの通信が可能になったときに点灯します。

※無線LANのオプションサービスにお申し込みの場合。

ランプ7 【セキュリティ】

今回は使用しません。



ランプが正常に点灯していない場合は・・・

インターネットに接続できないなどの問題が発生する可能性があります。トラブルシューティングを参照のうえ、トラブルの原因を突き止めてください。

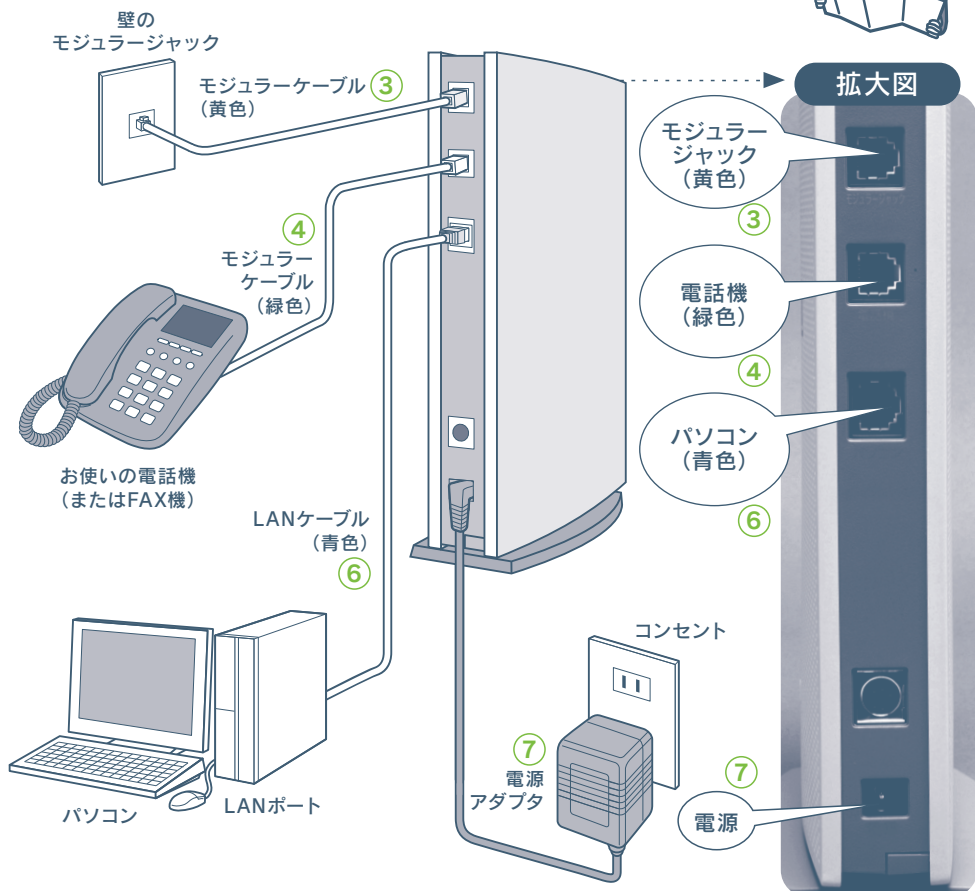
トラブルシューティング ▶ P.80

機器を接続しましょう

トリオモデム3-Gとパソコン、電話機を接続する

トリオモデム3-Gに同梱されている「ADSLモデム接続ガイド」で、接続の流れをわかりやすく説明しています。接続作業の際にはあわせてご覧ください。

※機器やケーブルなどの形状は、実際と異なる場合があります。
※ケーブルは差し込み口のみに色がついている場合があります。



※ケーブルは同じ色のポート(差込口)に差し込んでください。

💡 モジュラージャックが複数ある場合は…

対処方法 ▶ P.88



トリオモデム3-G、電話機、パソコンなどの電源アダプタはそれぞれの機器に正しく接続してください。電気製品の電源アダプタは、機器によって定格電流や定格電圧、入力端子の十極ノ一極の形態、位置などが異なり、他の製品のものを接続すると機器の誤動作や故障、発熱の原因となり、大変危険です。

1 機器の電源を切ります

▼ 接続する機器（パソコン、トリオモデム3-G、電話機）の電源をすべて切ってください。

2 電話機（またはFAX機）から電話線を取り外します

▼ 現在ご使用中の電話機（またはFAX機）に接続している電話線を、壁のモジュージャックから取り外してください。

3 ADSLモデムとモジュージャックを接続します

▼ トリオモデム3-Gに同梱のモジュラーケーブル（黄色）を使用して、トリオモデム3-Gの〔モジュージャック〕（黄色）と壁のモジュージャックを接続します。

4 ADSLモデムと電話機（またはFAX機）を接続します

▼ トリオモデム3-Gに同梱のモジュラーケーブル（緑色）を使用して、トリオモデム3-Gの〔電話機〕（緑色）と電話機（またはFAX機）を接続します。

5 電話機（またはFAX機）の電源を入れて、回線種別を設定します

▼ お使いの電話機（またはFAX機）で、「プッシュ回線」か「ダイヤル回線」の、いずれかの回線種別を設定する必要があります。詳細はP.24をご覧ください。

回線種別の設定方法をP.24で詳しく説明しています。

6 ADSLモデムとパソコンを接続します

▼ トリオモデム3-Gに同梱のLANケーブル（青色）を使用して、トリオモデム3-Gの〔パソコン〕（青色）の差し込み口のいずれかとパソコンのLANポート（LANアダプタまたはLANカードの差し込み口）を接続します。

7 ADSLモデムの電源を入れます

▼ トリオモデム3-Gに同梱の電源アダプタをトリオモデム3-Gの〔電源〕に接続して、もう一方をコンセントに差し込みます。

8 パソコンの電源を入れます

トリオモデム3-Gの〔リンク〕ランプが点灯してから、パソコンの電源を入れてください。

以上で接続は完了です！

次ページ(P.18)でトリオモデム3-Gのランプを確認しましょう。

機器を接続しましょう

トリオモデム3-G のランプを確認しましょう



接続が終わったら、ADSLモデムの前面パネルのランプが正常に点灯するかどうかをご確認ください。

トリオモデム3-Gの電源を入れると、すべてのランプが約30秒間点灯します。1～2分後、下記図のように〔電源〕、〔リンク〕、〔BB Phone〕の各ランプが点灯すれば、回線は正常に接続されています。

なお、BBフォンサービスを提供していないサービスをお申し込みの場合は、〔BB Phone〕ランプは点灯しません。

■…点灯 ■…消灯 ☆…点滅

ランプ1 [電源]

トリオモデム3-Gに電源が供給されているときに点灯します。点灯しない場合は、電源アダプタの接続をご確認ください。

ランプ2 [警告]

何らかの通信障害が発生したときに点灯します。点灯したままになっている場合はトリオモデム3-Gを再起動する必要があります。

ランプ3 [パソコン]

パソコンとトリオモデム3-Gが正常に接続されているときに点灯します。パソコンの電源が入っていないときや、パソコンが接続されていないときは点灯しません。

※お使いのパソコンの機種や設定状況によっては、パソコンを接続した場合に、パソコンの電源が入ってなくても点灯することがあります。

ランプ4 [データ]

パソコンとの間で通信が行われているときに点滅します。

ランプ5 [リンク]

インターネット回線に正常に接続されているときに点灯します。インターネット接続の準備中には点滅します。

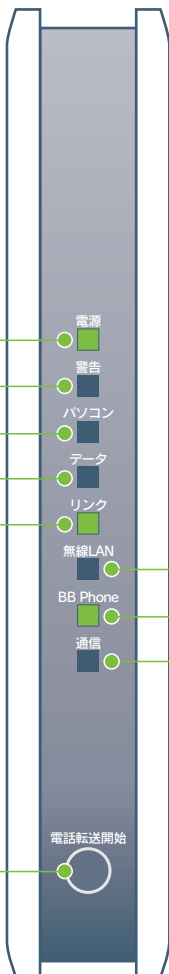
※開通工事が完了するまでランプは点灯しません。

ボタン1 [電話転送開始]

今回は使用しません。



【BB Phone】ランプと【通信】ランプが同時に点滅しているときは、モデムのソフトウェア更新中となりますので、電源をお切りにならないよう、お願いいたします。
故障の原因となることがあります。



ランプ6 [無線LAN]

無線LANカードがトリオモデム3-G に装着され、無線LANでの通信が可能になったときに点灯します。

※無線LANのオプションサービスにお申し込みの場合。

ランプ7 [BB Phone]

BBフォンを使った通話が可能なときに点灯します。
点滅または消灯しているときはBBフォンでの通話はできません。

※BBフォンおよび関連サービスにお申し込みの場合。

ランプ8 [通信]

ダイヤル後に呼出音が聞こえている間、またはBBフォンで通話しているときに点灯します。また、BBフォンからの着信があり、呼出音が鳴っている状態、インターネット接続でデータの送受信が発生している状態では点滅します。

※通常の待機状態で不定期に点滅することがあります。



ランプが正常に点灯していない場合は・・・

インターネットに接続できないなどの問題が発生する可能性があります。トラブルシューティングを参照のうえ、トラブルの原因を突き止めてください。

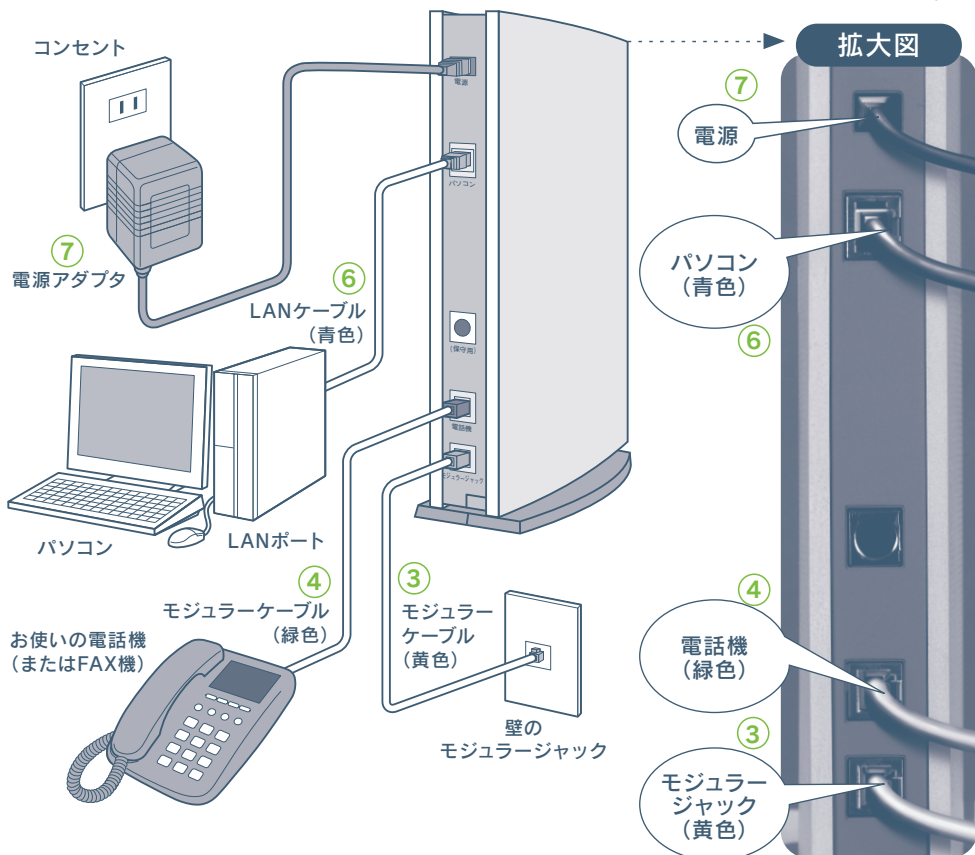
トラブルシューティング ▶ P.80

機器を接続しましょう

トリオモデム26Mとパソコン、電話機を接続する

トリオモデム26Mに同梱されている「ADSLモデム接続ガイド」で、接続の流れをわかりやすく説明しています。接続作業の際にはあわせてご覧ください。

※機器やケーブルなどの形状は、実際と異なる場合があります。
※ケーブルは差し込み口のみに色がついている場合があります。



※ケーブルは同じ色のポート (差し込み口) に差し込んでください。

💡 モジュラージャックが複数ある場合は…

対処方法 ▶ P.88



トリオモデム26M、電話機、パソコンなどの電源アダプタはそれぞれの機器に正しく接続してください。電気製品の電源アダプタは、機器によって定格電流や定格電圧、入力端子の十極／一極の形態、位置などが異なり、他の製品のものを接続すると機器の誤作動や故障、発熱の原因となり、大変危険です。

1 機器の電源を切ります

▼ 接続する機器（パソコン、トリオモデム26M、電話機）の電源をすべて切ってください。

2 電話機（またはFAX機）から電話線を取り外します

▼ 現在ご使用中の電話機（またはFAX機）に接続している電話線を、壁のモジュージャックから取り外してください。

3 ADSLモデムとモジュージャックを接続します

▼ トリオモデム26Mに同梱のモジュラーケーブル（黄色）を使用して、トリオモデム26Mの〔モジュージャック〕（黄色）と壁のモジュージャックを接続します。

4 ADSLモデムと電話機（またはFAX機）を接続します

▼ トリオモデム26Mに同梱のモジュラーケーブル（緑色）を使用して、トリオモデム26Mの〔電話機〕（緑色）と電話機（またはFAX機）を接続します。

5 電話機（またはFAX機）の電源を入れて、回線種別を設定します

▼ お使いの電話機（またはFAX機）で、「プッシュ回線」か「ダイヤル回線」の、いずれかの回線種別を設定する必要があります。詳細はP.24をご覧ください。

回線種別の設定方法をP.24で詳しく説明しています。

6 ADSLモデムとパソコンを接続します

▼ トリオモデム26Mに同梱のLANケーブル（青色）を使用して、トリオモデム26Mの〔パソコン〕（青色）の差し込み口のいずれかとパソコンのLANポート（LANアダプタまたはLANカードの差し込み口）を接続します。

7 ADSLモデムの電源を入れます

▼ トリオモデム26Mに同梱の電源アダプタをトリオモデム26Mの〔電源〕に接続して、もう一方をコンセントに差し込みます。

8 パソコンの電源を入れます

トリオモデム26Mの〔リンク〕ランプが点灯してから、パソコンの電源を入れてください。

以上で接続は完了です！

次ページ(P.22)でトリオモデム26Mのランプを確認しましょう。

機器を接続しましょう

トリオモデム26Mのランプを確認しましょう



接続が終わったら、ADSLモデムの前面パネルのランプが正常に点灯するかどうかをご確認ください。

トリオモデム26Mの電源を入ると、すべてのランプが約30秒間点灯します。1～2分後、下記図のように〔電源〕、〔リンク〕、〔BB Phone〕の各ランプが点灯すれば、回線は正常に接続されています。

なお、BBフォンサービスを提供していないサービスをお申し込みの場合は、〔BB Phone〕ランプは点灯しません。

■…点灯 ■…消灯 ☆…点滅

ランプ1 [電源]

トリオモデム26Mに電源が供給されているときに点灯します。点灯しない場合は、電源アダプタの接続をご確認ください。

ランプ2 [警告]

何らかの通信障害が発生したときに点灯します。点灯したままになっている場合はトリオモデム26Mを再起動する必要があります。

ランプ3 [パソコン]

パソコンとトリオモデム26Mが正常に接続されているときに点灯します。パソコンの電源が入っていないときや、パソコンが接続されていないときは点灯しません。

※お使いのパソコンの機種や設定状況によっては、パソコンを接続した場合に、パソコンの電源が入ってなくても点灯することがあります。

ランプ4 [データ]

パソコンとの間で通信が行われているときに点滅します。

ランプ5 [リンク]

インターネット回線に正常に接続されているときに点灯します。インターネット接続の準備中には点滅します。

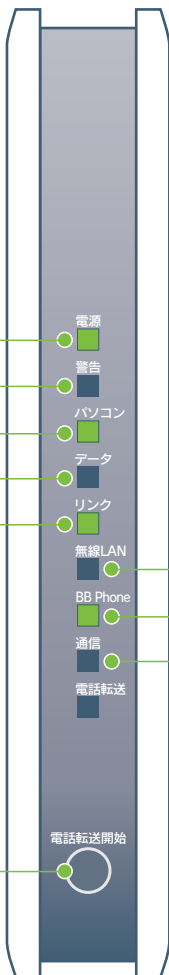
※開通工事が完了するまでランプは点灯しません。

ボタン1 [電話転送開始]

今回は使用しません。



【BB Phone】ランプと【通信】ランプが同時に点滅しているときは、モデムのソフトウェア更新中となりますので、電源をお切りにならないよう、お願いいたします。
故障の原因となることがあります。



ランプ6 [無線LAN]

無線LANカードがトリオモデム26Mに装着され、無線LANでの通信が可能になったときに点灯します。

※無線LANのオプションサービスにお申し込みの場合。

ランプ7 [BB Phone]

BBフォンを使った通話が可能なときに点灯します。点滅または消灯しているときはBBフォンでの通話はできません。

※BBフォンおよび関連サービスにお申し込みの場合。

ランプ8 [通信]

ダイヤル後に呼出音が聞こえている間、またはBBフォンで通話しているときに点灯します。また、BBフォンからの着信があり、呼出音が鳴っている状態、インターネット接続でデータの送受信が発生している状態では点滅します。

※通常の待機状態で不定期に点滅することがあります。



ランプが正常に点灯していない場合は・・・

インターネットに接続できないなどの問題が発生する可能性があります。トラブルシューティングを参照のうえ、トラブルの原因を突き止めてください。

トラブルシューティング ▶ P.80

電話機の回線種別を設定しましょう

下記手順に従い、必ずお使いの電話機（またはFAX機）で、回線種別を設定してください。

回線種別設定の操作は、電話機の電源を入れ直した場合や停電の発生後にも行う必要があります。



回線種別設定が正しく行われていないと、次のような電話サービスをご利用いただけない場合があります。

- 「110」「118」「119」などの緊急通報および一部の3桁特番
 - 「0120」「0570」「0800」「0990」で始まるフリーダイヤルやナビダイヤルなど
 - 相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）を付けたBBフォン以外の電話サービスでの通話
- ※ADSL 電話加入権不要タイプをご利用のお客様は、上記のような電話サービスを利用した通話の発信はできません。

回線種別設定の手順

1

電話機の回線種別をご確認ください。

NTT加入電話の回線種別（電話回線の種類）には、「プッシュ回線」と、「ダイヤル回線」の2種類があります。ご利用の電話回線がどちらか分からない場合は、下記の手順にてご確認ください（ADSLモデムの電源を入れていない状態で行ってください）。

受話器を上げて、「ツー」という発信音を確認します。 ※「ツー」という発信音が出ない場合は、配線を確認してください。

0～9のいずれか1つボタンを押してください。

「ピ・ポ・パ」という音が鳴り、「ツー」という発信音が
消えればプッシュ回線です。

あるいは

ダイヤル音が鳴り、「ツー」という発信音が
消えればダイヤル回線です。

・「ツー」という発信音が鳴り続けている場合 → ②へ

・「ツー」という発信音が消えた場合は、電話機と電話回線の種別が一致しております。 → ③へ

2

回線種別に合わせて、電話機の回線種別を設定してください。

回線種別の設定方法は、ご利用の電話機によって異なります。電話機に付属の取扱説明書をご確認くださいか、電話機メーカーまでお問い合わせください。

なお、電話機の種類によっては、「自動」や「AUTO」など、自動的に回線種別を調べて設定する機能を持つものもありますが、こうした機種をご利用の場合でも、必ず手動で回線種別を設定してください（お使いの環境によっては、自動設定の機能では回線種別が正しく設定できない場合もあります）。

3

回線種別設定が完了したかどうかをご確認ください。

電話がかかり、音声为正しく聞こえれば、電話サービスはこれまで通りご利用いただけます。

※「177」などに電話をかけていただき、アナウンスが正しく聞こえるかお試しください。なお、お電話の際の通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

— ADSL 電話加入権不要タイプ以外にお申し込みのお客様 —

**音声为正しく聴こえない場合は・・・**

左記の設定を行っても音声为正しく聴こえない場合は、電話サービスがご利用いただけていない状態です。こうした場合は、左記②の回線種別設定が間違っていることが考えられますので、再度ご確認ください。②で正しい回線種別を設定したにも関わらず、電話サービスをご利用いただけないお客様は、トラブルシューティングをご覧ください。

対処方法 ▶ P.86**Step 1****電話機の回線種別を設定しましょう**

これで接続完了だね！



回線種別は、
電話機の電源を入れ直したら
再度設定する必要があるよ。
この冊子を保管しておけば、
再設定のときに便利！